

宇田雄一「古典物理学」

$T_7(Q_1, \dots, Q_n; Z; S, U, W, I)$ に以下の追加・変更を施して出来上がった理論を $T_7(Q_1, \dots, Q_n; Z'; S, U, W, I; x, a, b)$ と名付けることにする。

追加点: 22 と 23 の間に以下の文を挿入する。

『 $S^{\wedge}, U^{\wedge}, W^{\wedge}$ を次式で定義する。 (S^{\wedge} は時空座標系であり、 $S = S^{\wedge}x$) and [U^{\wedge} は電磁座標系網であり、 $\forall \xi \in N_{01}$; $U(S(\xi)) = U^{\wedge}(S(\xi)) \circ V_3(\xi, x, a)$] and [W^{\wedge} は重力座標系網であり、 $\forall \xi \in N_{01}$; $W(S(\xi)) = W^{\wedge}(S(\xi)) \circ V_{05}(\xi, x)$]』

変更点: 23 $\forall \xi' \in N_{01}$; $\forall P'$: 時空点; $P' = S^{\wedge}(\xi')$ \Rightarrow

[ξ' (4) を P' の時刻と呼び、 ξ' (3) を P' の空間座標と呼ぶこと] とする]

34 $\{h_5(f'; S^{\wedge}, W^{\wedge}) | f' \in F_5\}$ の元を自然の可変的な部分の歴史と呼ぶことにする。 36 $h_0(Q_1, \dots, Q_n; S^{\wedge})$ and $h_4(Q_1, \dots, Q_n; Z'; S^{\wedge}, U^{\wedge})$ を自然の固定的な部分の歴史または環境条件と呼ぶこととする。 41 M を次式で定義する。 $M \in \mathcal{H}(F)$ and [$\forall f' \in F; M(f') = h_5(f'; S^{\wedge}, W^{\wedge})$]

42 空欄。 43 空欄。

44 $\forall f' \in F; [\mathcal{L}(f')]$ によって次の文を表すこととする。

$\exists f \in F_5; \exists Z \in F_{4, n}; f' = [V_5(x, b)](f)$ and
 $Z' = [V_{4, n}(x, a, 1)](Z)$ and $e_7(f, Z, \rho(Q_1, \dots, Q_n; I))$]

45 空欄。

$T_8(P_1, \dots, P_n; S, U, W, I, J)$ に以下の追加・変更を施して出来上がった理論を $T_8(P_1, \dots, P_n; S, U, W, I, J; x, a, b)$ と名付けることとする。

追加点: 22 と 23 の間に以下の文を挿入する。

『 $S^{\wedge}, U^{\wedge}, W^{\wedge}$ を次式で定義する。 (S^{\wedge} は時空座標系であり、 $S = S^{\wedge}x$) and [U^{\wedge} は電磁座標系網であり、 $\forall \xi \in N_{01}$; $U(S(\xi)) = U^{\wedge}(S(\xi)) \circ V_3(\xi, x, a)$] and [W^{\wedge} は重力座標系網であり、 $\forall \xi \in N_{01}$; $W(S(\xi)) = W^{\wedge}(S(\xi)) \circ V_{05}(\xi, x)$]』

変更点: 23 $\forall \xi' \in N_{01}$; $\forall P'$: 時空点; $P' = S^{\wedge}(\xi')$ \Rightarrow

[ξ' (4) を P' の時刻と呼び、 ξ' (3) を P' の空間座標と呼ぶこと] とする]

34 $\{h_6(P_1, \dots, P_n; f'; S^{\wedge}, U^{\wedge}, W^{\wedge}) | f' \in F_{6, n}\}$ の元を自然の可変的な部分の歴史と呼ぶこととする。